斎藤直子（さいとうなおこ） 議員

議員のつぶやき
マンションの防災力で地域力をアップ！

マンション対策

Q 実態調査の進捗状況は

A 修繕積立金の不足など課題が見られた

録画配信

議員 マンション支援対策に向け、総合的な相談などを行う担当が設置された。実態調査の進捗状況は。

都市整備部長 市内２６８棟の分譲マンションを対象とし、東西の地域で2カ年に分け、建物の劣化状況や管理組合の運営状況、防災・防犯の取り組みなどを調査中。アンケート調査では、修繕積立金の不足や管理組合役員のなり手不足、大規模修繕工事に関する専門知識の不足などの課題が見られた。結果を分析のうえ、関係部局と情報共有を行い、本市の実態に即したマンション支援対策に取り組む。

議員 マンションの防災対策についての考えは。

危機管理監 自助・共助・公助の連携は欠かせない。分譲や賃貸など居住形態や立地状況により環境は異なるが、市では、各世帯に平常時から災害時の知識の向上や、いざというときに助け合う関係を近所の方と築くことなどを推奨している。

議員 防災資機材購入費用補助は、地域と信頼関係をつくる意義ある制度。枠を広げて防災士など人材育成費に使えるよう要望する。各マンションに防災リーダー的な人材がいれば、町会の自主防災会との連携がしやすいと考える。

築20～30年の分譲マンションが多い街並み

特別支援教育

Q スクールワイドＰＢＳの効果は

A 望ましい行動の回数が増えた

録画配信

議員 「インクルーシブ教育」とは、障害の有無に関わらず共に学ぶことを目指すもの。本市で産官学との連携で実施している「※スクールワイドＰＢＳ」の効果は。

教育部長 問題と思われる行動が起きたときに叱責や罰で減らすのではなく、できている行動に着目し、認めたり褒めたりすることで望ましい行動を育てていく支援方法について研究校全体で取り組んでいる。障害のある子供へ有効な支援とされる応用行動分析学に基づくものでありながら、障害のない子供へも有効な手立てとなっており、その後、望ましい行動の回数が増えたという効果が見られる。

議員 本年はかけはし特別支援学校も開校し、パラリンピックアスリートも大活躍した。歴史的な令和３年を「戸田市のインクルーシブ元年」と位置付け、特別支援教育の推進、障害者への理解がさらに大きく進むよう要望する。

その他の質問

Q パートナーシップ認証制度の創設について現状は。

A 県の調査結果、近隣市の動向、導入自治体の実施状況などを整理し引き続き検討していく。

目標を決め、児童ができることを褒めて伸ばす喜沢小学校の取り組み

竹内正明（たけうちまさあき） 議員

議員のつぶやき
インクルーシブ教育のさらなる前進を

※スクールワイド PBS…ＰＢＳは「ポジティブな行動支援」の略語で、学校全体で児童生徒の「望ましい行動」を肯定・称賛して育てることで「問題行動」を減らしていく取り組みのこと

※乳糖不耐症…牛乳に含まれる糖質を分解する酵素が不足もしくは活性が低下することで、乳糖が消化・吸収できず腹痛などの症状がでること

酒井郁郎（さかいいくろう） 議員

中高年の健康維持

Q スポーツ施設の無料化は

A 多様なニーズに応えていく

録画配信

議員 コロナ禍による自粛で、高齢者の健康状態が悪化している①スポーツ施設や市内バスを無料化し、身体運動、社会活動への参加促進を②帯状疱疹（ほうしん）は中高年の免疫力が低下した時に発症し、神経細胞を一つ一つ潰しながら激しい痛みを伴い進行する。ワクチンで予防できるので助成・無料化を③若年世代などのコロナワクチン未接種者への接種促進は。

健康福祉部長 ①地域活動への支援を強化するなど、多様なニーズに応えていく②コロナ禍で免疫力の低下が懸念され、発症増加も考えられる。周知・啓発を強化する③ワクチンの効果や副反応などに関する適切な情報発信と接種を受けやすい環境づくりを進めていく。

学校給食の牛乳が飲めない児童生徒に代替品を

議員 アレルギーや乳※糖不耐症で牛乳を飲めない人は、カルシウム不足が生涯にわたる悪影響を及ぼす。学校牛乳だけでなく、飲むヨーグルトや植物ミルクなどの代替品からの選択制にできないか。

教育部長 牛乳代替品の選択制は、少量では対応が難しい。家庭からの持ち込みは可能であり、適宜周知する。

	牛乳を飲める小中学生（平均値＝300ml/日）			牛乳を飲めない小中学生（0ml/日）
	牛乳からの摂取量	1日の必要量	割合(%)	
カルシウム	330㎎	600～800㎎	40～55	0㎎
タンパク質	10ｇ	30～50ｇ	20～30	0ｇ

学校牛乳を飲めないことでさまざまな栄養が不足します

議員のつぶやき
乳製品の持ち込み対応は、難しいのでは…

公共施設

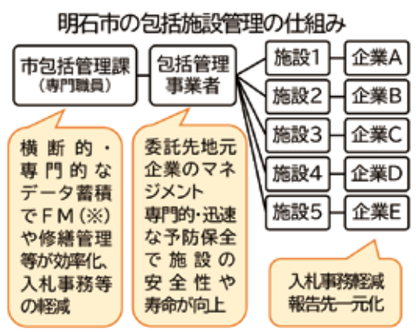
Q 包括施設管理の導入に向けた研究を

A どのような管理方法が有効か研究する

録画配信

議員 複数の公共施設の管理を一括して業者に委託する「包括施設管理」を導入する自治体が増えている。中でも明石市の包括管理は参考になる①包括管理事業者は複数施設のマネジメントを担い、協力企業へ再委託して管理するため、既存の地元企業の仕事を奪うものではない②日常の小規模修繕を含む包括管理により、その場で行える修繕や応急処置を施すことで、迅速な対応や長寿命化、コスト削減が実現③部局ごとに管理していた施設の一元化により、職員の入札や修繕対応事務の大幅削減、地元企業の事務作業の軽減が実現④横断的な施設管理により、仕様の統一や品質向上・均一化、施設情報の効率的な集約と活用が実現。実際に明石市では、マネジメント費が３５００万円増えたが、契約事務の削減などにより人員7人を減らし、全体で４８００万円のコスト削減を実現した。市・施設・地元企業三者にメリットのある包括施設管理の導入に向け研究を。

企画財政部長 現状の委託業務の効果を見直しつつ、包括施設管理を含めどのような管理が有効か、受注機会なども見極め研究する。



矢澤青河（やざわはるか） 議員

議員のつぶやき
老朽化や財政難、公共施設の課題へ、新たな一手を！

※ＦＭ（ファシリティマネジメント）…公共施設を行政の「経営資源」と捉え、総合的に企画、管理、活用していく管理手法のこと